

1. 術前患者リスクの確認に関して正しいのはどれか。
- a 薬剤アレルギーの有無は皮内反応テストで確認する。
  - b 待機手術では全身麻酔導入時の誤嚥の可能性は低い。
  - c 気道確保の難易度予測には Mallampati 分類が用いられる。
  - d 未治療の高血圧がある場合には、ASA の PS 分類でⅡ度である。
  - e 平地で人並みのペースで歩けない場合は Hugh-Jones 分類がⅡ度である。

正解 : c

2. 妊婦において正しいのはどれか。
- (1) 線溶系が亢進する。
  - (2) 凝固系が亢進する。
  - (3) 循環血液量が増加する。
  - (4) 静脈麻酔薬の作用が増強する。
  - (5) 薬物タンパク結合率は上昇する。
- a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)    c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)    e (3), (4), (5)

正解 : d

3. 手術前日からの休薬期間では不十分な薬剤はどれか。
- (1) 甲状腺薬
  - (2) アスピリン
  - (3) ワルファリン
  - (4) インスリン製剤
  - (5) アンギオテンシン変換酵素阻害剤
- a (1), (2)    b (1), (5)    c (2), (3)  
d (3), (4)    e (4), (5)

正解 : c

4. 周術期末梢神経障害のなかで尺骨神経障害について、誤っているのはどれか。
- a 最も頻度が高い。
  - b 多くは自然軽快する。
  - c 男性が女性よりも多い。
  - d 肘部管の圧迫により起こる。
  - e 環指・小指の伸展障害が起きる。

正解 : e

5. 周術期の末梢神経障害の危険因子について、誤っているのはどれか。
- a 喫煙
  - b 肥満
  - c 術中低体温
  - d 4 時間以上の手術
  - e 3 時間以上の駆血

正解 : b

6. 吸入麻酔薬のMAC（最小肺泡濃度）とは、侵害刺激（外科的執刀）に対して何%の患者が体動を示す濃度であるか、正しいのを選び。
- a 50%
  - b 75%
  - c 95%
  - d 99%
  - e 100%

正解 : a

7. セボフルランについて正しい組み合わせを選び。

- (1) 1MAC は 1.71%である。
  - (2) 気道刺激性が少ない。
  - (3) 生体内代謝率は 3~5%である。
  - (4) 加齢とともに MAC は上昇する。
  - (5) 肝障害の発生はハロタンと同程度である。
- a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)    c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)    e (3), (4), (5)

正解 : a

8. チオペンタールについて正しい組み合わせはどれか。

- (1) 頭蓋内圧を上昇させる。
  - (2) せん妄に注意を要する。
  - (3) 気管支喘息には禁忌である。
  - (4) 血管外漏出に注意を要する。
  - (5) 大豆アレルギーは禁忌である。
- a (1), (2)    b (1), (5)    c (2), (3)  
d (3), (4)    e (4), (5)

正解 : d

9. 静脈麻酔薬とその特徴について正しい組み合わせはどれか。
- (1) ケタミン……………交感神経刺激作用
  - (2) ミダゾラム……………健忘作用
  - (3) チオペンタール……………強アルカリ性
  - (4) プロポフォール……………喘息誘発作用
  - (5) デクスメデトミジン……………呼吸抑制作用
- a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)    c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)    e (3), (4), (5)

正解 : a

10. 全身麻酔に伴う変化について、正しいのはどれか。
- (1) 血圧上昇
  - (2) 心収縮力上昇
  - (3) 交感神経緊張
  - (4) 静脈還流減少
  - (5) 末梢血管拡張
- a (1), (2)    b (1), (5)    c (2), (3)  
d (3), (4)    e (4), (5)

正解 : e

11. 正しいのはどれか。
- (1) 筋弛緩薬は呼吸中枢に作用する。
  - (2) 麻薬性鎮痛薬は呼吸数を増加させる。
  - (3) 局所麻酔薬は運動神経には作用しない。
  - (4) 静脈麻酔薬投与時には気道閉塞に注意する。
  - (5) 揮発性麻酔薬は  $\text{PaCO}_2$  上昇に対する換気応答を抑制する。
- a (1), (2)    b (1), (5)    c (2), (3)  
d (3), (4)    e (4), (5)

正解 : e

12. 気管チューブの抜管について正しいのはどれか。
- (1) 再挿管の準備をしておく。
  - (2) 喉頭痙攣は陰圧性肺水腫の原因となる。
  - (3) シバリングは低酸素血症の原因にならない。
  - (4) 患者に刺激を与え続け、深呼吸を促す。
  - (5) 長時間の頭低位手術では喉頭浮腫に注意する。
- a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)    c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)    e (3), (4), (5)

正解 : b

13. 気管挿管困難症例における抜管について、誤っているのはどれか。
- a 抜管前に 100%酸素を投与する。
  - b 非脱分極性筋弛緩薬を拮抗する。
  - c 気道浮腫がある場合は抜管延期を検討する。
  - d 気管チューブのカフを脱気し、エアリークを確認する。
  - e エアウェイエクステンジャーは再挿管の妨げとなる。

正解：e

14. 喉頭痙攣について、正しいのはどれか。
- (1) 強い呼気努力を呈する。
  - (2) 小児より成人で発症しやすい。
  - (3) 麻酔導入時と覚醒時には注意が必要である。
  - (4) 上気道感染症状がある場合は注意が必要である。
  - (5) 喉頭痙攣が発症した場合は他の医師の応援を要請する。
- a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)    c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)    e (3), (4), (5)

正解：e

15. 麻酔時の誤嚥について、正しいのはどれか。
- (1) 重症糖尿病患者では注意が必要である。
  - (2) 下部消化管閉塞患者では発症することはない。
  - (3) フルストマックの麻酔導入には急速導入で行う。
  - (4) 声門上器具を使用している場合は注意が必要である。
  - (5) フルストマック患者では気管挿管後に輪状軟骨圧迫を解除する。
- a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)    c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)    e (3), (4), (5)

正解：c

16. 大量輸血に伴う副作用、合併症として正しいのはどれか。
- (1) アルカローシス
  - (2) 低ナトリウム血症
  - (3) 低カルシウム血症
  - (4) 移植片対宿主病 (GVHD)
  - (5) 輸血関連急性肺損傷 (TRALI)
- a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)    c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)    e (3), (4), (5)

正解：e

17. 筋弛緩薬の回復の早い順に並べたものとして正しいのはどれか。

- a 横隔膜……腹筋……母指内転筋……咽頭筋
- b 横隔膜……腹筋……咽頭筋……母指内転筋
- c 母指内転筋……咽頭筋……腹筋……横隔膜
- d 母指内転筋……横隔膜……腹筋……咽頭筋
- e 咽頭筋……母指内転筋……腹筋……横隔膜

正解 : a

18. 低血圧の原因として正しいのはどれか。

- (1) 出血……心後性
  - (2) 心筋虚血……心原性
  - (3) 心タンポナーデ……心原性
  - (4) 敗血症性ショック……心後性
  - (5) アナフィラキシーショック……心前性
- a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)    c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)    e (3), (4), (5)

正解 : d

19. 術中低体温による有害事象として正しいのはどれか。

- (1) 術中覚醒
  - (2) 横紋筋融解
  - (3) シバリング
  - (4) 出血量増加
  - (5) 術後創部感染
- a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)    c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)    e (3), (4), (5)

正解 : e

20. 正しいのはどれか。

- (1) 硬膜外麻酔は離床の妨げになる。
  - (2) イレウス患者では迅速導入を行う。
  - (3) 腸間膜牽引症候群により血圧低下が生じる。
  - (4) 輪状軟骨圧迫法は胃内容の逆流を予防する。
  - (5) 肺保護換気を行うことで術後の肺機能が改善される。
- a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)    c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)    e (3), (4), (5)

正解 : d

21. 開胸手術の麻酔について誤っているのはどれか。
- a 片肺換気により酸素化能は低下する。
  - b 吸入麻酔薬は低酸素性肺血管収縮を抑制しない。
  - c ダブルルーメン気管支チューブには右用と左用がある。
  - d 疼痛コントロールは喀痰排泄，無気肺予防に有効である。
  - e ダブルルーメン気管支チューブの位置を気管支ファイバースコープで確認する。

正解：b

22. 頭頸部手術の麻酔について誤っているのはどれか。
- a 気管切開術の合併症に気管膜様部損傷がある。
  - b 甲状腺全摘術後には，両側反回神経麻痺に注意する。
  - c 喉頭浮腫に対して予防的ステロイド投与が有効である。
  - d 扁桃摘出術の麻酔では，気管チューブの逸脱に注意する。
  - e 気管切開術後，早期のカニューレ事故抜去では経口挿管は禁忌である。

正解：e

23. 内分泌・代謝疾患の麻酔について正しいのはどれか。
- (1) 甲状腺クリーゼにより徐脈となる。
  - (2) 褐色細胞腫は高血圧，代謝亢進を呈する。
  - (3) 下垂体腫瘍手術には経鼻アプローチがある。
  - (4) 副腎皮質腫瘍摘出後は，ステロイドの補充療法を行う。
  - (5) 副甲状腺機能亢進症では低ナトリウム血症に注意する。
- a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)    c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)    e (3), (4), (5)

正解：d

24. 開頭術の麻酔について正しいのはどれか。
- (1) 坐位手術では空気塞栓の可能性はある。
  - (2) くも膜下出血後には脳血管攣縮に留意する。
  - (3) 頭蓋内圧に対する過換気の効果は一時的である。
  - (4) スキサメトニウムは頭蓋内圧を低下させる。
  - (5) 運動誘発電位モニタリング時は揮発性麻酔薬は禁忌である。
- a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)    c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)    e (3), (4), (5)

正解：a

25. 分離肺換気中の低酸素血症への対応について誤っているのはどれか。
- a 両側肺換気を行う。
  - b 患側肺に CPAP をかける。
  - c 健側肺に PEEP をかける。
  - d 健側肺にジェット換気を行う。
  - e ダブルルーメンチューブの位置を確認する。

正解 : d

26. 産科危機的出血およびその対応について誤っているのはどれか。
- a 産科 DIC スコアが 8 点以上である。
  - b 凝固障害を合併することが多い。
  - c 前置胎盤は出血のリスクである。
  - d ショックインデックスとは「収縮期血圧÷心拍数」である。
  - e 帝王切開術において出血量が 2 L を超える場合輸血を考慮する。

正解 : d

27. 小児手術の麻酔管理について誤っているのはどれか。
- a 開腹手術において、体温の上昇に留意する。
  - b 眼科手術において、術後の悪心・嘔吐の頻度が高い。
  - c 扁桃摘出術において、睡眠時無呼吸の合併に留意する。
  - d 超音波ガイド下に末梢神経ブロックを行うことがある。
  - e 口唇口蓋裂手術において、術後の上気道管理に留意する。

正解 : a

28. 小児の麻酔管理について正しいのはどれか。
- (1) 声門上器具を使用できる。
  - (2) 喉頭鏡ブレードには直型と曲型がある。
  - (3) 気管チューブにはカフなしとカフ付がある。
  - (4) 末梢静脈路の確保が難しい場合に急速導入を行う。
  - (5) 成人と比較して無呼吸時に低酸素血症になりにくい。
- a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)    c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)    e (3), (4), (5)

正解 : a

29. 覚醒遅延について正しいのはどれか。
- (1) 局所麻酔は覚醒には影響しない。
  - (2) 呼びかけに反応すれば抜管できる。
  - (3) 心機能低下患者では覚醒遅延を来たしやすい。
  - (4) 呼吸数 5 回/分の場合、麻薬性鎮痛薬の作用遷延を疑う。
  - (5) 覚醒遅延の原因が特定できない場合は頭部 CT 検査が必要である
- a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)    c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)    e (3), (4), (5)

正解 : e

30. ラテックスアレルギーのリスクが高いのはどれか。
- (1) 喘息
  - (2) 花粉症
  - (3) 医療従事者
  - (4) 頻回の手術歴
  - (5) キウイアレルギー
- a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)    c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)    e (3), (4), (5)

正解 : e

31. 術後悪心・嘔吐のリスクが高いのはどれか。
- (1) 亜酸化窒素
  - (2) フェンタニル
  - (3) ドロペリドール
  - (4) デキサメタゾン
  - (5) プロポフォール
- a (1), (2)    b (1), (5)    c (2), (3)  
d (3), (4)    e (4), (5)

正解 : a

32. 良好な末梢循環を示唆するのはどれか。
- (1) 心拍数 80/分
  - (2) 呼吸数 25/分
  - (3) 尿量 0.3 mL/kg/時
  - (4) 平均動脈圧 80 mmHg
  - (5) 毛細血管再充満時間 0.5 秒
- a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)    c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)    e (3), (4), (5)

正解 : c



33. 大量出血時の「死の三徴」として正しいのはどれか。

- (1) 低体温
- (2) 凝固障害
- (3) 血圧低下
- (4) 尿量低下
- (5) 代謝性アシドーシス

a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)    c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)    e (3), (4), (5)

**正解 : b**

34. 外科的 Apgar スコアに含まれる項目で正しいのはどれか。

- (1) 体温
- (2) 出血量
- (3) 心拍数
- (4) 平均動脈圧
- (5) 自発呼吸数

a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)    c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)    e (3), (4), (5)

**正解 : d**

35. 術後痛が全身に及ぼす影響において、誤っているのはどれか。

- a 高血圧
- b 低血糖
- c 無気肺
- d 凝固亢進
- e 低酸素血症

**正解 : b**

36. 術後痛が慢性化しやすい因子として正しいのはどれか。

- (1) 女性
- (2) 肥満
- (3) 若年者
- (4) 糖尿病
- (5) 非喫煙者

a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)    c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)    e (3), (4), (5)

**正解 : a**



41

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

1	2	1	5	2	3
3	4	4	5		

正解 : b

42

- 1
- 2
- 3
- 4 IV-PCA
- 5

1	2	1	5	2	3
3	4	4	5		

正解 : d

43

6	
	3
	6
	2

正解 : b

44

\_\_\_\_\_

.....

.....

.....

.....

.....

正解 : a

45. 手術野消毒に使用する生体消毒薬の組み合わせで誤っているのはどれか。

- a 正常皮膚…………… 0.5%クロルヘキシジン
- b 正常皮膚…………… 10%ポピドンヨード
- c 熱傷皮膚…………… 10%ポピドンヨード
- d 腔粘膜…………… 0.5%クロルヘキシジン
- e 結膜囊…………… 0.02%塩化ベンゼトニウム

正解：d

46. 輸血について誤っているのはどれか。

- a 輸血の準備は1回1患者ごとに行う。
- b 赤血球濃厚液の保管は冷蔵（2～6℃）で行う。
- c 血小板濃厚液は専用の輸血セットで投与する。
- d 赤血球濃厚液のヘマトクリット値は60%前後である。
- e 輸血開始後5分間はベッドサイドで患者の状態を観察する。

正解：d

47. 良肢位について誤った組み合わせはどれか。

- a 肩関節…………… 外転 20°
- b 肘関節…………… 屈曲 90°
- c 股関節…………… 外転 20°
- d 膝関節…………… 屈曲 10°
- e 足関節…………… 底屈 10°

正解：c

48. 腹臥位手術時に注意すべき点で誤っているのはどれか。

- a 眼球圧迫
- b 腹部の圧迫
- c 心拍出量の増加
- d 心肺停止時の対処
- e コンパートメント症候群

正解：c

49. SSI（手術部位感染）防止のためのガイドラインで正しいのはどれか。

- a 手術時の手洗いには滅菌水が必須である。
- b 手術室は陽圧のため扉は開けていても問題はない。
- c 手術部位の除毛を行う場合は手術前日までに行う。
- d 手術室に入室するスタッフは最小限にしてマスク、帽子を着用する。
- e 手に排膿のある皮膚疾患があっても手洗いをしてガウンテクニックをすればよい。

正解：d

50. 手術体位について誤っているのはどれか。
- a 仰臥位では機能的残気量が減少する。
  - b 喫煙は末梢神経障害のリスク因子である。
  - c 褥瘡予防のためにシーツのしわを伸ばす。
  - d 離被架による上肢圧迫は神経障害の原因となる。
  - e 砕石位を仰臥位に戻すときは両足を同時に降ろす。

正解：e

51. 手術室の効率的運用として誤っているのはどれか。
- a 一足制にする。
  - b 手術手順を標準化する。
  - c 手術器材のキット化をする。
  - d 看護師周辺業務を外部委託する。
  - e 手術枠にこだわらず、手術は随時受け付ける。

正解：e

52. 手術室での災害対策として誤っているのはどれか。
- a 災害に備えてマニュアルの作成や訓練を行う。
  - b 地震発生時には直ちに手術を中止して避難する。
  - c 発災時には、まず患者やスタッフの安全を確保する。
  - d 各人が避難経路と避難場所、避難方法を理解しておく。
  - e 断水時には、手洗い方法と滅菌方法の変更を検討する。

正解：b

53. 周術期の感染対策として正しいのはどれか。
- (1) 術前から口腔ケアに取り組む。
  - (2) 針刺し事故では即座に流水で洗い流す。
  - (3) 手術の支障にならない限り除毛は行わない。
  - (4) 予防的抗菌薬の初回投与は手術終了後に行う。
  - (5) 縫合閉鎖した創部は、連日消毒し被覆材を用いる。
- a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)    c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)    e (3), (4), (5)

正解：a

54. 回復室からの退室許可基準として誤っているのはどれか。

- a シバリングがない。
- b 酸素飽和度が 93%である。
- c 刺激をしないでも覚醒している。
- d 痛みがあるが軽減傾向である。
- e 血圧が術前の±20%以内である。

正解：b

55. 褥瘡ハイリスク患者ケア加算の対象にならないのはどれか。

- a 座位
- b 側臥位
- c 腹臥位
- d 敗血症ショック
- e 3 時間以上の手術

正解：e

56. 術後せん妄について正しいのはどれか。

- (1) 認知症が悪化した状態である。
  - (2) 様々な要因が影響し合って起こる。
  - (3) 数時間から数日という短い期間で発症する。
  - (4) 高齢者に手術侵襲が加わると発生率は倍増する。
  - (5) 低活動型せん妄は、活動型せん妄より予後はよい。
- a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)    c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)    e (3), (4), (5)

正解：d

57. 深部静脈血栓症のリスクファクターとして誤っているのはどれか。

- a 肥満
- b 若年者
- c 悪性腫瘍
- d 気腹手術
- e 長時間手術

正解：b

58. 術後鎮痛について誤っているのはどれか。
- a 適切な術後鎮痛には、適切な評価が必須である。
  - b 適切な術後鎮痛は、患者の周術期 QOL を向上させる。
  - c 持続する痛みは「痛みの悪循環」をきたし痛みが増強する。
  - d 適切な術後鎮痛は、患者の訴えより医師の判断が重要である。
  - e 適切な術後鎮痛を行うことで、せん妄を予防できる可能性がある。

正解：d

59. WHO 手術安全チェックリストについて正しいのはどれか。
- (1) 施設ごとの改変をしてはいけない。
  - (2) 誤認手術を防止するために作成された。
  - (3) 「麻酔導入前」「皮膚切開前」「患者の手術室退室前」の3つのタイミングで行う。
  - (4) 患者確認、部位確認は、手術室入室時に可能であれば本人を含めて実施する。
  - (5) 体内遺残防止には、看護師だけでなく外科医、麻酔科医を含めたチームとしてカウントする。
- a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)    c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)    e (3), (4), (5)

正解：e

60. 滅菌方法として正しい組み合わせはどれか。
- (1) 鋼製小物……………高圧蒸気滅菌
  - (2) 内視鏡……………過酸化水素低温プラズマ滅菌
  - (3) ガーゼ……………過酸化水素低温プラズマ滅菌
  - (4) ガラス製品……………酸化エチレンガス滅菌 (EOG)
  - (5) 非耐熱性プラスチック用品……………酸化エチレンガス滅菌 (EOG)
- a (1), (2), (3)    b (1), (2), (5)    c (1), (4), (5)  
d (2), (3), (4)    e (3), (4), (5)

正解：b